

せいこう 議会だより

VOL.127
6月議会
令和元年
7月26日発行
新潟県聖籠町議会

創立140周年おめでとう
(電代小学校運動会)

- 6月議会主な質疑
議員表決結果報告
町政を問う 10人が一般質問
見て聞いて話し合った 委員会レポート
- 2～3ページ
7ページ
9～19ページ
20～21ページ



例正
改正

投票所経費の
基準額改正

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、投票所経費等の基準額を改正します。
○投票所の投票管理者(日額12700円を日額12800円)
○期日前投票所の投票管理者(日額11200円を11300円)
○選挙長・開票管理者(日額10700円を10800円)
○投票所の立会人(日額10800円を10900円)

討論 なし
採決 全員賛成で可決

代表監査委員に
二宮秀男さん(再任)



二宮秀男さん(蓮野)

代表監査委員の二宮秀男さんが令和元年6月30日で任期満了になることから、引き続き同意を求められ、無記名投票によって、賛成11、反対2で同意しました。

議員発議

提出者 青木順議員
賛成者 長谷川六男議員
田中智之議員

例正
改正

議員の定数を定める
条例の一部改正

提案理由

近年、地方を取り巻く行政環境は、厳しさを増す一方となっております。そしてそれらは、聖籠町にとっても例外なく、今後厳しさを増すのは間違いないと考えていかなければならない状況にあります。
聖籠町においても行政改革が進む中、今後町民の負担増が懸念されます。そのような中で、全国的にも議会改革が進み、議員定数の削減を行っている市町村も増加の一途であります。
本町においても平成19年に議員定数を18人から14人に削減し、現在に至っています。
今後少子高齢化の中、社会情勢が大幅に変化していくことを鑑み、さらに2人削減し、定数を12人と改め、少数精鋭で町民の負担に配慮しようとするものであります。
※(施行期日)次の一般選挙から施行する。

提出者へ質疑

問 中村恵美子議員 議会運営委員会が中心になって、議会基本条例をつくるため、小委員会を立ち上げた。青木議員はその小委員会の委員だったはずである。小委員会で、議員削減の問題について、具体的に触れ、議長に正式な特別委員会を作るべきと進言すべきであった。任期最後の本会議で決議を出した意図は何か。
答 青木順議員 議長に進言したが、時間的に問題があると言われた。決議を出したのは、自分の気持ちが変わらなかったからである。

問 宮沢光子議員 近隣自治体での議員削減の状況を調査したのか。
聖籠町は議員削減を平成19年のとき、18人から4人削減した。しかし、忘れてはいけないのは、平成15年のときにも、4人削減している。削減するには、大義が必要である。

6月
定例会

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、町道の認定など8議案を全て可決。
令和元年6月11日～18日(会期8日間)

これまで、議員削減について、正式に議員間で議論をしていない。議員を削減し、少数精鋭というのが、少数II精鋭ということにはなり得ない。議員削減について、思いが強かったのであれば、4年の任期の間にやるべきことがあったのではないか。

答 青木順議員 新発田市や胎内市など調査した。しかし、他の自治体はあくまでも他の自治体のことである。町の将来を見据えた結果、議員削減の思いは消えなかった。平成27年の改選が無投票だったことなどお思いが強くなった。

問 小川勝也議員 現在の14人の議員は、少数精鋭ではないのか。
財政のことを考えるなら、今の14人の報酬を下げることは考えなかったのか。議員削減は、町民にある一定の周知期間が必要である。
答 青木順議員 今の14人は、少数精鋭である。

しかし、今後のことを考え削減をして、無投票は阻止したい。
町民への周知方法は、今の時代、時間をかけずともできる。
問 渡辺豊議員 提案理由が自分本位で、おかし。軽々しい提案である。議員定数の削減について、町民に十分な説明をしていない。町民不在の提案である。
答 青木順議員 アンケートの回収率が、12.4%。町民は、議会に対して無関心だと感じた。財政危機の先を見据えて、議員削減を提案した。議会基本条例を軽視はしていないが、状況によって中身を変えていくものだと思うている。

議会議事基本条例に議員定数についての考え方を載せている。平成29年1月から2月にかけて実施した議会アンケートの結果から、町民の思いが分かる。議会アンケートの結果をどう感じているか。
答 青木順議員 アンケートの回収率が、12.4%。町民は、議会に対して無関心だと感じた。財政危機の先を見据えて、議員削減を提案した。議会基本条例を軽視はしていないが、状況によって中身を変えていくものだと思うている。

賛成 長谷川六男議員
近年、町議員選挙の投票率が、町民の関心が少なく、下がり続けている。平成27年の選挙で無投票になったことで、一部の議員からも定数削減の話が出た。議会改革の一つとして、定数削減は必要。

賛成 田中智之議員
平成19年の4人削減時町の人口数から千人に一人の議員で14人という申し合わせ事項が現在まで続いている。この数字には根拠がない。議員に対する町民の厳しい声からも削減は必要。

反対 中村恵美子議員
今春、議員定数2人削減を決めた新発田市では、改選前に特別委員会を設置して、時間をかけて議論をしたと聞く。議会基本条例の検討時に、議員削減を議論する委員会設置を提言すべきであった。

反対 宮沢さやか議員
現時点での議員削減は、速断である。議会として、今すべきことは、町民に議会を見える形にすることや議員一人一人の資質向上など課題はたくさんある。議会改革と行政改革とは異なるものである。
反対 小川勝也議員
4月から施行した議会基本条例に基づき、8月改選後、定数の議論を開始する決定をしたばかり。全然議論していない。今回の議員削減の発議は、議会の機能を低下させ住民を町政から遠ざけるもので容認できない。

反対 五十嵐利栄議員
議員報酬の上げ下げは容易だが、定数は削減すると元に戻すことはできない。削減には慎重な議論を重ねることが必要。
8月の改選に、立候補を予定している人たちがいる可能性がある中で、今、定数削減はすべきではない。

反対 宮沢光子議員
定数削減は唐突に出た話である。議会基本条例では、議員定数については、町民の意見を聞く公聴会制度等を活用すると決めた。短絡的に削減を決めるべきではない。多種多様な各世代の町民の声を町に届けるためには、議員は多い方がいい。

反対 小川益一郎議員
あまりに唐突な発議で理解に苦しむ。8月の改選を目前にして、議員削減に〇か×かを町民に示すための選挙前のパフォーマンスでしかない発議である。聖籠町議会として、こういう発議を許すことは恥である。



▲定数問題は持ち越しに

採決 賛成3 反対10で否決



▲販売窓口は商工会です

協賛店募集方法は

宮沢光子議員 町の協賛店が確保できなければ、プレミアム付商品券の意味がない。産業観光課と保健福祉課との連携について、どう考えているのか。

商工会を通じて募集予定

保健福祉課長 協賛店については商工会を通じて募集を行う予定である。

一般会計補正予算

主な歳入

- コミュニティ助成事業助成金 210万円
- プレミアム付商品券補助金 2255万円
- 繰越金 5611万円

主な歳出

- コミュニティ助成事業補助金 210万円
- プレミアム付商品券事業費 2255万円
- 緊急風しん抗体検査等事業費 290万円
- 大夫興野地区畑かん施設整備事業補助金 48万円

台の購入費用である。もう1台は春先に退職した職員から寄付を受けたものである。

風しん抗体等検査の対象年齢は

宮沢光子議員 個別予防接種業務委託料は風しん抗体検査等に係るものも聞いている。対象年齢はまた本町での対象者は何か。

41歳から57歳の男性である

保健福祉課長 41歳から57歳の男性が対象であり、本町では約1600人の対象者がいる。3力年計画で、今年1年目は国の指針で41歳から47歳に個別に受診勧奨予定。個別受診勧奨者以外の対象年齢の方から問い合わせがあった場合、その都度対応する。

軽自動車購入費の詳細は

宮沢光子議員 軽自動車購入費は2台分購入するための予算なのか。

新車購入の経費である

保健福祉課長 軽自動車購入費はあくまで新車1

令和元年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8908万円を追加し、総額67億8547万円と定める予算を全員賛成で可決しました。主な質疑は歳出のコミュニティ助成事業、プレミアム付商品券事業などについて行われました。

主な質疑

総合案内への職員配置は

中村恵美子議員 以前は配置されていた職員が総合案内にいない状況だ。案内業務を行う後任の職員が必要ではないか。また、6月の人事異動について、広報等で周知する考えはあるのか。

庁舎内の掲示等で十分対応可能

町長 案内業務は会計室や町民課、各課の掲示によって十分対応できるものと判断。総合案内に職員配置はしない。過去にも人事異動があった際、広報での掲載はなかった。今回も同様に対応する。

プレミアム付商品券事業の動向は

中村恵美子議員 国の増税の動向によって、プレミアム付商品券事業の実施は変わるのか。

国の増税可否によって変わる

保健福祉課長 100%国の補助事業であり、補助金がおりにこなければ実施できないものと考えている。



▲迷ったときは掲示板を

1件のみの該当か

五十嵐利栄議員 コミュニティ助成事業の詳細は、町内3件応募から1件のみ該当したのか。

採択されたのは1件である

総務課長 一般財団法人自治総合センターへ県経由で申請する事業である。本町からは3件申請し、

限度額についての周知は

長谷川六男議員 コミュニティ助成事業補助金の限度額はあるのか。

区長会で周知していく

総務課長 区長会で事業概要やスケジュール等説明をしている。限度額に

申請は1件のみか

小川勝也議員 ほ場整備園芸試験推進事業補助金の申請は蓮濁地区1件のみか。

現在実施地区は1件である

産業観光課長 現在事業を実施しているのは蓮濁地区のみである。今後事業を実施する地区があれば対応していく。

その他施設での落雷の被害は

五十嵐利栄議員 他の農業施設や畑かんて落雷による被害はなかったか。

現時点で被害報告はない

産業観光課長 土地改良区に確認した結果、現時点でその他の被害はなかった。



▲幸運な補助金を射止めた四ツ屋公会堂

議員表決結果報告

平成31年第1回定例会において、「聖籠町議会基本条例」が制定されました。本条例に基づき、各議案等における議員ごとの賛否を掲載いたします。今号では「平成31年第1回臨時会」、「令和元年第2回定例会」の賛否を掲載いたします。

平成31年第1回聖籠町議会臨時会（4月25日）

提出者	議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は採決に参加できません														採決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
議案等	宮沢さやか	小川勝也	長谷川六男	渡辺豊	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	五十嵐利栄	中村恵美子	小川益一郎	須貝龍夫	小林政栄	田村富美男	
町長提出															
専決処分の承認を求めるについて〔聖籠町税条例等の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めるについて〔聖籠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めるについて〔聖籠町介護保険条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
聖籠町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度聖籠町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年第2回聖籠町議会定例会（6月18日）

提出者	議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は採決に参加できません														採決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
議案等	宮沢さやか	小川勝也	長谷川六男	渡辺豊	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	五十嵐利栄	中村恵美子	小川益一郎	須貝龍夫	小林政栄	田村富美男	
町長提出															
聖籠町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任につき同意を求めるについて	無記名投票による														同意 (賛成11反対2)
町道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度聖籠町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度聖籠町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度聖籠町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出															
聖籠町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願・意見書															
蓮野小学校児童の登下校時にスクールバスの運行を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

みなさんの 請願・陳情

第2回定例会では、地域住民より直接の声となります請願2件を審査し、全員賛成で採択としました。

採択した請願

◎蓮野小学校児童の登下校時にスクールバスの運行を求める請願書

〔提出者〕 旭ヶ丘区長 坂上利夫

前旭ヶ丘区長 皆川富一

〔紹介議員〕 小林政栄・中村恵美子

討論 なし
採決 全員賛成で採択

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

〔提出者〕 新潟県教職員組合下越支部

執行委員長 長谷川直紀

〔紹介議員〕 五十嵐利栄・中村恵美子

討論 なし
採決 全員賛成で採択

意見書を国に提出

第2回定例会で1件の意見書が提出され、全員賛成で可決しました。可決した意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

第1回臨時会

4月25日、平成31年第1回臨時会が1日間の会期で開かれました。4議案と専決処分の3承認について、討論なし、全員賛成で可決しました。

一般会計補正予算（第1号）

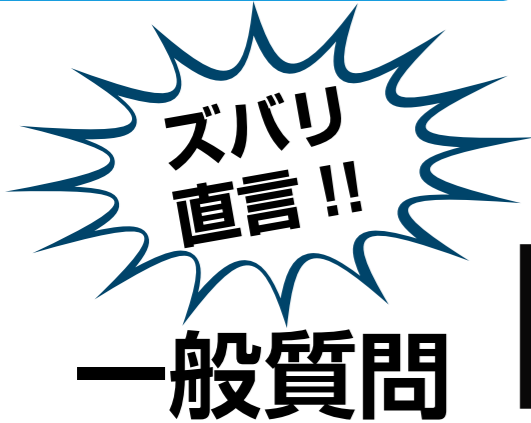
地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、国民健康保険税の基礎課税額に係る限度額の引き上げと軽減措置の5割軽減及び2割軽減に対しての一般会計補正予算です。	歳入	歳出
国庫負担金	219万円	社会福祉費 439万円
県負担金	110万円	
繰越金	110万円	

自治功労者に表彰状



なかむら えみこ 議員
中村 恵美子

6月5日、新潟県町村議会議長会より、中村恵美子議員は「町村議会議員20年以上在職功労者」として表彰されました。



町政を問う

- 6月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、8月末に町ホームページに掲載される予定です。

10 議員が質問

田中 智之 議員

- 1 ぐちゃって通学の安全を確保するか
- 2 ひっ迫した県財政の影響は
- 3 どうする増え続ける空き家

長谷川 六男 議員

- 1 クルーズ客船寄港時の対応は
- 2 どうする進まない除草作業

小川 勝也 議員

- 1 9カ月たった西脇町政の成果は
- 2 今後の検討事業の状況は
- 3 子どもたちを取り巻く状況は

渡辺 豊 議員

- 1 幼児教育の充実を町の将来の基本に
- 2 弁天潟築堤は防犯上問題
- 3 連休に図書館4日間だけの開館なぜか

宮沢 さやか 議員

- 1 学校での支援の取り組みは
- 2 認知症検査導入の再検討を
- 3 熱中症対策どう取り組む

中村 恵美子 議員

- 1 国保に一般会計から繰り入れを
- 2 やりすぎではないか住民サービス削減
- 3 全ての子どもに給食費無料化を

宮沢 光子 議員

- 1 どう考える事務事業の見直し
- 2 どうなる学校支援地域本部

青木 順 議員

- 1 住居リフォーム支援で町の活性化を
- 2 安心安全で安価な水を確保せよ

五十嵐 利栄 議員

- 1 企業誘致どう進める
- 2 他自治体との差別化政策は
- 3 再任用事前周知の徹底を

高松 守雄 議員

- 1 どう考える町の総合計画
- 2 聞いているかバイオマス発電計画
- 3 企業立地促進の奨励金適用となるか

行政報告



西脇町長

▼ふるさと納税ポータルサイトを増やし、5月末で703万円、前年度比1.8倍となりました。

▼さぶりん館はゴールデンウィークの10連休で、入館者が8500人を超え、大勢の方から利用いただきました。

▼高齢者へのタクシー券支給には、5月末現在で、246人の申請がありました。

▼敬老会については、今年2月に敬老会対象者2485人にアンケート調査を実施し、1933人の方から回答をいただきました。今年の敬老会につきましては、対象年齢を71歳からとし、毎年段階的に1歳ずつ引き上げ、最終的には75歳まで引き上げる方向性に決めました。

▼今年10月からの消費税・地方消費税の10%への引き上げに伴い、低所得

者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、町内の消費を喚起、下支えすることを目的に、10月から国の補助を受けて、プレミアム付商品券を販売します。

▼4月14日、「弁天潟さくらまつり」を3年ぶりに開催でき、約2000人の来場者で賑わいました。

▼4月3日、校長会が開催した「聖籠町教職員全員研修会」で、聖籠町教育の現状を示し、改善・解決するための取り組みを説明。

特に、学力向上に関しては、「学習課題」と「まとめ」、「振り返り」のある授業づくりに取り組むこと、英語教育とプログラミング教育を積極的に推進すること、地域教育プログラムによる地域貢献を推進すること、そして幼児教育を充実することをお願いしました。

▼図書館については、4月23日、「平成31年度子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。

読者の声



磯部 恭子さん (網代浜)

議会を初傍聴

老後の心配をせねばならない年齢になってきましたが、先日65歳までに2千万円の蓄えが必要、などと報道され、「聞かなかったことにしよう」と現実逃避しております。

私は蓄財に興味がなく、宵越しの金は持たず、の家庭に育ちました。

若くして亡くなった夫もまた、大盤振る舞いの好きな人だったため、おのずと蓄えの精神に欠けたおばさんになってしまいました。

老い先に不安がない、とは言いませんが、ストレスフリーな生活から足を洗う気にはなかなか暮れず、日々、能天気な暮らしております。

今回、この議会だより原稿の依頼を受け、「一度、議会というものを傍聴してみよう」と、初めて足を運んでみました。

まず傍聴席に座った感想です。

あのクッションが効いた椅子は、座り心地が良かったのですが、傍聴席からだだと、議員さんの姿勢は、質問する人しか見えないのです。それにしても、傍聴人の少なさに驚きました。

そして、少し偉くなったような気分ですが、お話を聴いての感想です。

失礼な言い方ですが、議員の皆さん、なかなかしぶとく、しつこく質問されていました。町の発展のため、町民のためにがんばっておられるのだと感じました。

そして町長も、一つ一つ丁寧に応答されており、耳心地が良かったです。

初傍聴人として一言、発言者の方々には、もう少しマイクを意識していただきたいと思います。

マイクを意識していない方の話は、ボソボソと、とても聴き取りにくかったです。傍聴席にいた人たちの中で、居眠りされていた人もいましたよ。



おがわ かつなり 議員

問 80歳以上の運転免許返納者数と、高齢者タクシー券の申請者数は。
町長 平成30年中32人、平成31年1月から4月までで17人。そのうち15人が80歳以上である。タクシー券申請者は246人。

問 新潟市、田上町との協約書に基づく「子育て応援パスポート」の交付世帯数は。
教育長 15歳未満の児童がいる1270世帯に交付。

問 4月から貸館となった

今後の検討事業の状況は

町長 検討会等の場を設ける

問 循環バス事業の見直しと、デマンドタクシー導入についての計画案は。
町長 秋ぐらいまでに町の草案をまとめ、検討会等の場を設け意見をいただき、来年1月頃までに方針を固めたい。

問 聖籠地場物産株式会社

問 経営健全化の見通しは。
町長 経営状況は大変厳しい。経営健全化方針に基づき具体的な行動をとっていく。

問 「さぶーん館」の今年度の収支予測は。
町長 今年度は日帰り温

泉利用者15万3千人、宿泊利用者で7千人を見込み、売上総利益を1億8262万円、販売費及び一般管理費1億8642万円で、営業利益は、380万円まで赤字圧縮する。



▲きれいな花壇をいつまでも（聖中入口交差点）

9カ月たった西脇町政の成果は

町長 確実な実施に向け事務作業を進める

問 「杜」の活用状況は。
町長 5月までの2カ月の利用状況は10件で、98人に利用いただいた。

問 規模縮小した環境美化事業と、ボランティア参加者の状況は。
町長 花いっぱい運動のプランターづくりや園児の花植え体験学習などがある。地域ボランティア活動を推進する。

子どもたちを取り巻く状況は

教育長 安全対策の構築に努める

問 今年度予算化された、各小中学校の防犯カメラと、図書館WiFi設置の状況は。
教育長 防犯カメラは、2学期から稼働予定で、WiFiは6月4日より供用開始。

問 各小中学校の登下校時見守りの改善状況は。
教育長 見守りの状況を把握できていないとの課題がある。

問 児童クラブ入会児童は177人で昨年比50人増。子ども医療費は、5月末までに352人の拡充対象の方から受給者証の申請があった。
町長 児童クラブについては、来年1月の申請受付後に、今年4月分まで遡及し助成する償還払い方式のため、実績は出ていない。

問 児童クラブ料金引き下げ、給食費助成、子ども医療費助成による町民の反応は。
町長 児童クラブ料金引き下げ、給食費助成、子ども医療費助成による町民の反応は、

どうやって通学の安全を確保するか

町長 交通安全意識の高揚に取り組む

問 子どもを巻き込む自動車事故の原因は高齢者の運転や、ながら運転、子どもを守るための対策や指導が必要ではないか。
町長 町民の交通安全意識の高揚に取り組む。また、今年度4月から80歳以上で運転免許を持たない方に、タクシー利用料金助成事業を実施。



▲安全なスクールゾーンへ



たなか ともゆき 議員

問 路側帯が十分確保されていない通学路はあるか。町は常に把握しているか。
教育長 毎年PTAが中心となって危険箇所を調査し、危険箇所マップを作成している。しかし、路側帯の幅の確保が十分な通学路もある。

問 路側帯が十分確保されていない通学路はあるか。町は常に把握しているか。
教育長 毎年PTAが中心となって危険箇所を調査し、危険箇所マップを作成している。しかし、路側帯の幅の確保が十分な通学路もある。

ひっ迫した県財政の影響は

町長 県の今後の議論を注視

問 新潟県の財政は歳入が大幅に減少し赤字決算が続く「緊急事態」だ。平成29年度決算では歳入規模に対する借金（県債）残高割合が全国で最悪だった。県は今後、補助金見直しや県有施設統廃合など痛みを伴う改革を余儀なくされる。この「緊急事態」は本町にどのような影響があるか。
町長 県は次年度予算を視野に、行財政改革行動計画を10月までに策定する。外部有識者会議の議

問 町長の公約に、東港の未操業地を早期解消し、財源確保するとのあるが、県との連携は不可欠だ。今後、どのように県とのパイプを築いていくか。
町長 東港の機能整備については、県と一緒に国交省に要望に行っている。地元として、もう少し踏み込んだ話ができるよう、県の幹部に相談している。

どうする増え続ける空き家

町長 専門家による相談体制の整備

問 町で把握している空き家の軒数と、そのうち管理不全空き家は何軒か。
町長 昨年11月時点で75軒。管理不全は27軒。

問 高齢者の一人暮らしの住宅は何軒か。それらを空き家になる可能性があるかと位置付けているか。
町長 65歳以上の一人暮らしの住宅は346軒。

問 民間事業者と連携し、相談体制整備や空き家の発生抑制を図るべきでは。
町長 平成29年10月に関係7団体と「空家等対策に関する協定」を締結し相談体制を整備。今後はこの制度を周知する。



みやざわ みつこ 議員

問 平成31年2月、聖籠町行財政改革大綱が策定され、その中の「事務事業の見直し」で、削減や廃止が行われた。引き続き今後も、見直しを検討する9項目の事業の中で、予算的に多額な循環バス事業と冬季通学バス運行事業は、町民に身近で関心の高い事業である。

町長 町として、具体的な見直し案を早急に示すべきと考えるがどうか。

町長 子どもたちの通学バスも含めて、町の公共交通を全体的に見直す作業をしている。見直し案を早めに出したいが、簡単に結論は出ない。しかし、来年1月頃までには、見直し案を出したい。

問 事務事業の妥当性に重点を置くことは何か。

町長 町民にとって、真に必要なものは、事業を行うということである。

問 行財政改革大綱では、職員の見直しと組織再編にも取り組むとある。今年度の職員配置にどう反映しているか。「広報せいろう5月号」の職員の組織図を見て、再任用職員の配置の在り方に町民の声があるか。

町長 次年度での組織再編に向けて、検討を進めている。職員配置については、各職員が自分の能力を發揮できるように、配慮し考えていきたい。

町長 町民に必要な事業は行う どう考える事務事業の見直し

どうなる学校支援地域本部

教育長 地域学校協働本部へ移行

問 今年度、町の正規職員として、学校支援地域本部統括コーディネーターを配置したが、意図と経緯は何か。

教育長 平成29年4月、地域と学校が連携協働し、地域全体で子どもたちの

成長と地域づくりにつながるため、社会教育法の一部が改正された。この経緯を踏まえ、専任の統括コーディネーターを配置した。地域学校協働本部への移行に向けた取り組みを進めたい。

問 町は、平成27年度から平成31年度の期間で、「聖籠町子ども読書活動推進計画」を初めて策定した。計画を策定したことから、町立図書館、小・中学校、家庭等で読

書活動が継続的に取り組まれたと思う。第2次の計画策定について、どう考えているか。

教育長 現行の計画の取り組みを総括し、令和2年度までに第2次の計画策定を進めたい。今後計画の中で、重点を置きたいことは、家庭における読書活動（家読）である。メディアコントロールの調整能力も身に付くのではと思う。



▲図書館へ妖怪の本を探しにきたよ

学校での支援の取り組みは

教育長 合理的配慮に基づき対応



みやざわ さやか 議員

問 発達障害のある児童生徒が全国的に増加傾向と言われる中、学校での支援の取り組みは。

教育長 特別支援教育コーディネーターを位置付け、相談体制を整備し、合理的配慮に基づき、介助員を各学校に配置。

問 発達障害の児童数は本町でも増加傾向か。

教育長 県内も増加傾向であることから本町でも同様の状況と考えられる。

問 増加に伴い個々の児童へ個別の対応は可能か。学校設備、必要備品等不足は生じていないか。

教育長 物的な整備については今後、学校とも協議をしながら確認したい。

問 発達障害は個人差もあり十人十色である。周



▲身も心も楽しく（運動教室）

囲の理解も重要では。

教育長 特性理解の教育職員の研修会と共に、今後理解促進に向けた取り組みを学校に指示したい。

問 障がい児の一次的な見守り、介助、こども園の受け入れ体制は十分か。

教育長 具体的な支援実

施は、S・Wとの連携体制を注視。こども園では支援体制の整備に努めている。

問 本町での放課後等デイサービス設置の検討は。

保健福祉課長 必要性は考慮するも現実的には町外のサービス提供である。

認知症検査導入の再検討を

町長 まずは初期集中支援に取り組む

問 軽度認知障害の早期発見、早期対応が認知症

町長 予防で重要。認知症評価の導入を再度検討しては。

町長 現在初期集中支援に取り組んでおり、認知機能評価と同様の成果が得られるものと考えられる。

問 認知症予防の重要な取り組みである運動教室は現在何集落での開催か。

町長 今年度は町内22カ所での開催で、28集落が参加予定である。

問 本人ミーティングや※コグニサイズといった運動等を検討しては。

町長 対応策として町でも講演会等実施している。

問 早期に生活習慣病への対策を講じることで、結果的に認知症リスク軽減につながるかと考えるが。

町長 生活習慣病への対策が重要である。十分な対応を図りたい。

一〇メモ
※コグニサイズ
国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題を組み合わせた認知症予防を目的とした取り組みの総称。

熱中症対策どう取り組む

町長 必要な対策を講じる

問 町主催の夏期イベント等、暑さ対策や開催時期等を含めた対応策が必要と考えるがどうか。

町長 暑さ対策の徹底が肝要。開催時期の見直しや、ガイドラインを参考に必要な対策を講じたい。

問 地球温暖化防止に向け、一人一人が省エネを意識し、取り組むことが

重要だ。町民への啓発活動、環境教育の一環としての今後の取り組みは。

町長 広報やイベントを通じて啓発活動を行う。

教育長 今後、展開される地域学校協働活動の一環として、啓発活動や貢献活動に発展させていきたい。



はせがわ せいいち 長谷川 議員

町長 平成28年5月22日、コスタ・ピクトリア号が新潟東港南埠頭に寄港してから、4月30日入港のクアンタム・オブ・ザ・シーズ号で7回目の寄港を数える。当初、町も歓迎セレモニーで乗船客を迎え入れ、町の特産品の出店やシャトルバスでざぶざぶ二宮邸を周遊するコースなどがあり、多くの町民が経済効果を期待していた。

問 シャトルバスの乗客が減った理由は。

町長 船会社のオペショナルツアーが充実してきた。

問 7回の寄港で町にどのくらいの経済効果があるか。

町長 7回の寄港で町にどのくらいの経済効果があるか。

東港振興室長 平日であり、販売員の確保ができないということでは出せなかった。



▲世界最大級の客船にびっくり

クルーズ客船寄港時の対応は 町にとっても大きな課題

町長 大きな原因。今の大きな課題。利用した乗客の総人数は。

町長 シャトルバスの運行は平成28年から実施している。これまで約980人が利用。

問 4月30日の寄港時、町のPRにもなる特産品販売ブースがなかったのはなぜか。

東港振興室長 平日であり、販売員の確保ができないということでは出せなかった。

問 7回の寄港で町にどのくらいの経済効果があるか。

町長 7回の寄港で町にどのくらいの経済効果があるか。

問 派川加治川水環境保全協議会の予算枠の中で、新発田市と整備予算の振り分けをしている派川加治川の保全管理について、平成28年第3回定例会で質問したが、なかなか作業が進んでいない。前回の答弁では、「前向きに状況を判断しながら、予算付けをしていく時期にもってきている感も否めない」と答弁している。昨年度から本町が5年ごとの輪番制の派川加治川水環境保全協議会事

どうする進まない除草作業

町長 引き続き川の中の処理を行う

町長 派川加治川水環境保全協議会の予算枠の中で、新発田市と整備予算の振り分けをしている派川加治川の保全管理について、平成28年第3回定例会で質問したが、なかなか作業が進んでいない。前回の答弁では、「前向きに状況を判断しながら、予算付けをしていく時期にもってきている感も否めない」と答弁している。昨年度から本町が5年ごとの輪番制の派川加治川水環境保全協議会事

一口メモ
※シテイプロモーション自治体ことの「営業活動」を総称して呼ぶ言葉。

企業誘致どう進める

町長 県とも連携し進めていく

問 地方創生の柱は雇用の場の確保。東港未操業地で新たな工場建設や、新規事業の動きはあるか。

町長 この3年以内の動きでは、物流施設や低温倉庫が建設された。今月には食品製造工場が竣工する予定である。

問 未操業地の多い企業に対する具体的戦略をどう考えているか。

町長 これまでも意向調査や、企業訪問を行ってきたっており、今後も関係機関と連携して対応していく。

問 県内の大学や専門学校の卒業生の県外流出の流れが止まらない。防止策を具体的に考えているか。

町長 インターンシップ事業を実施し、学生の地元定着に努めている。

問 国が10月からの幼保



いからし しろうし 五十嵐 議員

町長 無償化を決定した。当時の3から5歳までの幼稚園無償化政策が、他自治体との差別化ではなくなる。このことにより町への人口流入が今まで通り期待できるのか。町として他自治体との新たな差別化政策をどう考えているか。

町長 国は10月からの無償化政策が10月から実施予定となった。他自治体との差別化政策については、教育委員会とも意見交換を行ってきた。まだ決定的なものはない。幼児教育の質の向上も一方策と捉えている。

教育長 こども園から英語教育を取り入れ、小学校でそれを引き継ぎ、さらに中学校につなげると



▲年々増える預かり保育（亀代こども園）

町長 事前の周知徹底は行った。また適材適所の話し合いも行った。しかし今後十分留意する。

問 再任用制度を当町が採用してから5年ほど経過した。今までは主任級職務の再任用だったが、今年は管理職としての再任用者も採用した。再任用者の職場配置は適材適所となっている。職務による賃金の設定は総務省の指導要領に基づき問題はない。

町長 再任用者の周知徹底は行った。また適材適所の話し合いも行った。しかし今後十分留意する。

他自治体との差別化政策は 今後具体策を検討する

という流れの中で、外国語に力をつける。そのような教育を考えている。

また、今はICT社会であるので、プログラミング教育が打ち出されて

再任用事前周知の徹底を

町長 徹底したが、なお十分留意する



わたなべ ゆたか 議員

幼児教育の充実を町の将来の基本に

町長 質を高める方向で検討中

問 当町の幼児教育は、12年カリキュラムの一段階としか捉えていない。10月からの、国の施策を機に、これを町の将来の基本と位置付け、本格的に取り組んではどうか。

町長 総合教育会議で、私の教育に関する考え方を述べている。国の幼保無償化に伴い、町のこれからの幼児教育の方向は、質の向上と捉えている。

現在の3こども園体制そのものの検討の必要性も含め、次なる町の教育施策を検討していく。

教育長 質の向上につながるものとしては、英語教育の導入や音楽、体育、お茶などの日本文化の活動を充実させること、な

弁天瀉築堤は防犯上問題

どがある。各園で、教諭の能力の伸長を図るよう、見取り、傾聴、声かけについて具体的な研修を進めてもらっている。

環境整備については、教諭を1人増員し、ハイド面でも、子育てシステムの見直しの検討の中で考えていく。

町長 防犯カメラ設置で対応

問 この築堤には、完成したときから疑問があった。

町長 景観上、また防犯上、改修の必要はないか。

町長 弁天瀉風致公園は、



▲見えたらいいなあ弁天瀉

2カ年度で整備工事を行い、おおむね今の範囲の形状になった。その後、蓮野小学校PTA、地元集落等からの指摘により、防犯カメラを設置して、死角ができないよう、安全対応してきている。

問 万が一のとき、緊急に対応できるか。

町長 前述の安全上の議論から、防犯カメラを設置したものである。ふるさと整備課長 瀉の側については、見通しがとれるようになっていて、安全対策はとれていると思う。

問 近隣住民の方々から築堤に関する不満や危惧の話はないか。

町長 集落等から改めて築堤の改修うんぬんという話はない。

連休に図書館4日間だけの開館なぜか

教育長 子育て支援の観点で判断

問 他の自治体の図書館は、振り替えてでも開館していたところもある。町の図書館は、なぜ4日間しか開館しなかったか。

教育長 大型連休中は、勤労者世帯の子どもたちの居場所づくりとして開いた施設もある。図書館は、こども園等と比べ緊急度は高くないものと考え、4日間の開館とした。

問 職員の体制から開館しないのはおかしい。町民サービスの面から考えるべきではないか。

教育長 町の図書館は、生涯学習的な要素もあり、職員はそちらの方への従事業務もかなりある。今回は、私の判断で4日間開館としたが、図書館長とも相談し煮詰めていく。

国保に一般会計から繰り入れを

町長 現時点では難しい

問 国民健康保険の1人当たりの10年の推移を見てみると、2010年度8万2099円、2014年度9万1656円、2017年度10万1975円で2010年度からは、1万9876円も高くなってきている。

一般会計からの繰り入れで、国民健康保険税の引き下げはできないか。

町長 2017年度の国保税引き上げは、前年度に被保険者の減少と医療給付費が増加し、約8千万円の法定外繰り入れをした。国保税額を据え置くと、一般会計からの繰り入れが予想されたので、引き上げを行った。2018年度からは、全国の市町村、国保保険者の法定外繰入額と同額の3400億円を低所得者対策、財政基盤強化策として国から交付されている。本町でも保険税軽減等として、一般会計からの繰り入れで本年度は6750万円の予算計上している。このうち国、県の特定財源を除いた約1700万円は、一般会計の負担となっている。現時点では難しい。



なかむら えみこ 議員

やりすぎではないか住民サービス削減

町長 行財政改革大綱に基づき推進

問 今、町は財政難というところで、行財政改革をしている。3月議会では生ごみのたい肥化事業などの廃止、長寿祝金、私立保育園助成金の縮小を行った。予算の使い方を变えることで、住民サービス廃止、縮小しなくても良いのではないか。

町長 この改革は税収の減少、少子高齢化、公共施設の老朽化といった課題の中で、子どもから高齢者まで、活力と安心のある地域社会を維持していくため限られた財源の中で取り組みをしていく。今年度は、児童クラブ料金の引き下げ、第3子以降の給食費無償化、子ども医療費助成を満18歳までに拡充、高齢者タクシー利用料助成事業を始めた。今後も、行財政改革大綱に基づき進めたい。

全ての子どもに給食費無料化を

教育長 試算すると9千万円

問 今年の4月から、こども園から中学校卒業までの第3子以降、給食費が無料となり、該当する保護者からは大変喜ばれている。

全ての子どもたちに、給食費無料化を行うべきと考えるがどうか。

教育長 人口減、出生率のことも考えても、給食費は無償化できれば、一番良いが、現実はそのような試算がある。聖籠町で完全無償化すると、年間9千万円かかる試算がある。副食費の無償化等いろいろな可能性を把握し、しばらくは継続したい。



▲みんなで食べる給食はおいしい



たかまつ 高松 もり お 守雄議員

町長 私たち議員は本会議定例会が事実上任期最後となる。町の財政難に将来的に予想される医療費の増大、公共施設の老朽化問題、これからの将来の課題に持続可能な対応をどう図っていくのか。

町長 限りある財源の中で優先順位を考えこれから作る総合計画に示して町民の意見も反映していく。

問 県道のスノーポールをなぜ片付けないのか。県道なので放っておくのか。

ふるさと整備課長 県道のため、県が対応している。

問 海岸端の県の管理用道路、春先から釣り人等の車が何台もはまっている。堆積砂の撤去を例年町が直営で整備していた道路だが、海洋観光資源として活用しないのか。

産業観光課長 堆積砂は今年度は5月末に撤去した。

問 亀塚の交差点の花壇など、町づくりの姿勢について、町民は「町長は期待外れではないか」と言っている。町民にもつ



▲町を支える東港工業地帯

どう考える町の総合計画

町長 時代に応じた見直し

と丁寧な説明をすべきと思うがどうか。

町長 政策に直接関わる町民からは評価が下がるが、限りある財源の中で優先的に投資している。

聞いているかバイオマス発電計画

町長 あいさつはあったが説明はない

企業立地促進の奨励金適用となるか

町長 奨励金の対象は難しい

問 都市計画素案の地区計画「蓮瀉長峰山地区」の計画内容は工業用地開発とあるが、奨励金の適用になるか。

町長 エリアとしては調

整区域。奨励金の対象になることは難しい。

問 町長の行政報告にはないがバイオマス発電を新潟東港に建設したいという具体的な事業者名・場所・面積・燃料・荷役バスなどの事業化へ向けたスケジュール表が出ている。

町は東港の未操業地の早期解消に向けた取り組みなどによる、税収の増加に向けた取り組みを総合計画に今、策定の準備

町長 事業者はあいさつには来たが、具体的な計画内容等については承知していない。

まだ具体性がない段階では、動きようがないのが現状。

情報の開示は政策の1つ。町民に周知を図っていく。

3月に新聞発表があり、知事も本県に立地の打診があったことを明かした。最有力候補の1つとして再生可能エネルギーの活用を考えていきたいとあった。

問 町長の行政報告にはないがバイオマス発電を新潟東港に建設したいという具体的な事業者名・場所・面積・燃料・荷役バスなどの事業化へ向けたスケジュール表が出ている。

をしていくというのが固定資産の減収の中で誘致を考えていないのか。

新潟港が将来の日本海最大の拠点港として発展する要素として、積極的な町の取り組み、積極的な議論など正確な情報開示も町の役目と思うがどうか。

住宅リフォーム支援で町の活性化を

町長 今後の検討課題



あおき 青木 じゅん 順議員

現在、隣の新発田市では、住宅リフォーム支援事業がある。

アパート、別荘は別だが、今住んでいる住宅、市内定住を目的として購入した住宅をリフォームするときに利用できる。平成24年から実施している。

平成31年度の実績は、419件の応募があり、369件の当選で抽選形式で行われた。また、利用するときは、市内業者を使うことが必須である。

問 今までも突発的に、当町でも「住まいる券」や「地域振興券」など発行してきた。しかし、継続して実施することで、生活設計や住環境の向上について計画性を持って活用できると思う。

またそれらが、地域経済の発展にもつながると考えているがどうか。

町長 リフォーム事業を町で制度化したとき、町民に対し公平公正か、大義が通るか精査する必要がある。十分説明でき、

町長 安心安全な水を供給している

昭和58年に給水を開始したが、人口減少や節水意識の向上などにより、今後の上水道事業の運営は厳しいものとなり、経年劣化による管の更新も必要となると予想できる。

また、聖籠町の水道料金については、13ミリの管で月20立方メートル使用した場合、1カ月3326円であり、新発田市は2813円。

県内最高額は南魚沼市で、4825円。全国には1000円を切る自治体も存在している。

問 平成28年12月に起き

た茨島の水道管漏水事故については仮復旧と聞いている。

亀代地区への上水道の管路はその1本だけである。

この漏水事故のときは約1800世帯に断水をかけて復旧した。真夏の暑い時期に断水した場合、危険である。

茨島の仮復旧管を早期に本復旧する考えはないか。また、水道料金は今後値上げする可能性があるのか。

町長 茨島の仮復旧管は修繕後2年が経過し、異

安心安全で安価な水を確保せよ

町長 安心安全な水を供給している



▲待たれる本復旧工事（網代浜の茨島）

常も見られないため、今年度中に本復旧を予定している。

水道料金については現時点で料金の引き上げはない。

しかし将来的には水道料金の改定の検討も必要になってくる。

新潟港が将来の日本海最大の拠点港として発展する要素として、積極的な町の取り組み、課題や議論など正確な情報開示も町の役目と思うがどうか。



議案に対する賛否を公表

広報広聴

「議会だより112号」を現在の広報委員で初めて、編集・発行してから4年が過ぎようとしている。今回の「議会だより127号」が、現在の広報委員で編集した最後の議会だよりになった。「議会だより」は、年4回開かれる定例会の議会報告である。町政の今を町民にしっかり届けるために議会としての、大事なツールの1つである。この4年を振り返ると、1人でも多くの町民に手に取ってもらえる「議会

だより」を目指して、広報委員一同、表紙や町民参加の企画記事等の充実に参加を重ねてきた。議会を身近に感じてもらうことが、少しでもできたであろうか。「議会基本条例」を策定して2カ月、議員の「態度公表」で、今回の127号から、議案について、議員一人一人の賛否を掲載した。開かれた議会として、議会だよりは必要不可欠。次期の広報委員会に期待をしたい。
(文責 宮沢光子)

ふるさと納税と図書館の現状・今後を調査

総務文教

5月30日、閉会中の調査を行った。
①ふるさと納税
今年度のふるさと納税の寄付状況は、昨年度同時点比で件数・金額共に大幅な増加となっている。これは職員の営業努力による返礼品の充実とポータルサイトへの新規加入が要因である。
町は今年度、寄付金額5千万円を見込んでおり、令和4年の1億円達成に向け事業を進めるとのことである。
②図書館



開館5年目を迎えた町立図書館だが、順調に推移していた本の貸出冊数から足踏み状態である。このため新たな登録者増を目指し、幅広い年代を対象としたイベントの企画や、児童やヤングアダルトサービスの充実などを予定している。
今後も「だれでもが学び、培い、集い、情報を活用できる、暮らしのなかの図書館」を目指し、運営されることを望む。
(文責 田中智之)

見て聞いて 委員会

話し合った レポート

町民との意見交換会 骨子議論

議会運営

6月4日、議会運営委員会を開催し、議会基本条例制定に基づく、町民との意見交換会の実施要領の、素案を提示し、意見交換を行った。「素案の骨子」
1、開催時期を毎年10月とする(予算組み込みに間に合うことを前提)。
2、議会基本条例で設定した、議員定数と報酬や情報公開などについては、必ず意見交換会の議題として組み込む。
3、議会及び町の重要な
情報は必ず意見交換会の情報として提出する。
4、意見交換会で出された提案が、予算に要望するもの場合は、特別委員会を設置して検討する。
5、一定の人数の町民に参加していただく方策について検討する。
以上の概要を中心に検討し、その後全員協議会でも論議し、今後、煮詰めていくことで合意した。
(文責 五十嵐利栄)



増税後の景気対策は

厚生産業

6月14日、厚生産業常任委員会を開催した。主な内容については、6月5日の落雷で、大興野地区の畑かん施設が故障し、町が半額補助するというもの。
聖籠町プレミアム付商品券事業は消費税が10%に上がる景気対策として、国の経費で実施する。今回の商品券は利用者が限られている。0歳児から3歳児の子育て世帯、非課税世帯である。利用は町内に限り、利
用可能業者は商工会が募集し、公表する。利用限度額は2万5千円分の商品券を2万円で購入することができ、商工会に委託する。
その他の内容としては、ざぶーん館に関しての議論であった。
(文責 青木 順)



ほのぼのファミリー



いしい かおる
石井 薫 さん
(網代浜)



夢は家族みんなで健康に



Q 家族の構成は

私たち夫婦と息子2人と猫2匹です。

Q 聖籠町の好きなところ

最初来たばかりの頃は、右も左も分からないことばかりでしたが、近所さんや集落の方が分からないことをいろいろ優しく教えてくださって、町民の皆さんがとってもあったかいところが好きです。

Q 聖籠町に住んで何年

ですか

結婚してから聖籠に住み始めたので、今年で丸15年になりました。元々旦那の地元なので近くに義両親もいていつも助かってます。

Q 今後の夢は

家族みんなで楽しく健康に過ごせていけたらと思います。



お知らせ

~information~

★議会を傍聴にきませんか

次回の定例会は、**9月19日(木)**開催予定です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。

★表紙の写真★

「創立140周年おめでとう」

(亀代小学校運動会)

5月25日(土)、創立140周年記念を兼ね、児童全員によるバルーンセレモニーが行われました。

(撮影 宮沢さやか)

編集委員のつぶやき

4年前の改選以来、このメンバーで合計16号の「議会だより」を発行してきました。表紙や中記事の写真撮影やレイアウトなど、裏表紙の最後に至るまで神経を行き届かせてきました。

時には、投稿者との行き違いもありました。しかし、原稿依頼や取材、撮影に快く応じていただいた方々に感謝いたします。

発行後は、毎回、安堵と反省の繰り返しでした。校正については、担当する一般質問者の原稿の読み合わせ、各担当記事のチェックやレイアウト、写真のキャプション付けなどが印象に残ります。

委員長を中心に、毎回、強い変革の志と集中力で議会内容をダイジェストし、広報する役目は果たせたと感じています。

4年間、ありがとうございます。
広報広聴常任委員会
委員 渡辺 豊

発行責任者

議長 田村富美男

広報広聴常任委員会

委員長 宮沢光子

副委員長 小川勝也

委員 中村恵美子

渡辺 豊

長谷川六男

宮沢さやか

発行 新潟県聖籠町議会

編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

せいろう議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。